

# 事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	市民部 産業振興課 商工観光係 東原 宜彦	評価責任者 (担当課長)	産業振興課長 高島 悟
----------	-----------------------	-----------------	-------------

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	地域活性化イベントの開催	② 整理番号	03010204-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	元気にぎわいのまちづくり	
	節	特性を生かした地域づくり	
	項	商業の振興	
	号	商業活性化の促進	
④ 関連する個別計画	なし	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	なし		

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	地場産品のPRと市内各商店街などへの集客を図る。
② 対象 (誰・何を対象として)	市民並びに近隣市町村からの来訪者
③ 手段 (どのようなやり方で)	実行委員会形式により実施 ※高田活活まつり実行委員会補助金 ※高田おかげ祭り実行委員会補助金 ※地場産業フェア&やまとたかだ元気ウィーク実行委員会補助金
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	市民はもとより、広く近隣市町村に「商都高田」をPRし、高田の賑わいを発信、集客に努めるほか、活性化に向けての地域住民・地元商店街の一層の連帯意識の高揚を目指す。

## 3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円、人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	7,178	8,440	7,317	7,317	(予算) 5,535
② 概算人件費	(0.35) 3,166	(0.53) 3,166	(0.55) 3,875	(0.67) 4,712	
	(関与比率) 一般職員 (0.35) 3,166	(0.53) 3,166	(0.55) 3,875	(0.67) 4,712	
	(関与比率) 嘱託職員				
	(関与比率) 臨時職員				
③ 合計(①+②)	10,344	11,606	11,192	12,029	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					(当初予算)
⑤ 一般財源(③-④)	10,344	11,606	11,192	12,029	

#### 4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 祭り開催回数	年間開催回数	4回	4回	4回	4回
	② 実行委員会開催回数	年間開催回数	8回	8回	8回	8回
成果指標	① 参加者数	年間参加者数	164,000人	159,000人	175,384人	134,000人
	②					
効率指標	① 参加者1人当りのコスト	事業費/年間参加者数	63円	73円	64円	90円
	②					

#### 5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
① 妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	B	「高田活まつり」及び「高田おかげ祭り」は多くの市民に親しまれ賑わいの創出につながっている。また、県・市・商工会議所がそれぞれの催し物を2週間に集約して実行委員会を組織して実施する地場産業フェア&やまとたかだ元気ウイークもある。これらの事業は、実行委員会形式で行っているが、さらに自立性を強化する余地がある。
② 有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	B	「高田活まつり」、「高田おかげ祭り」及び「地場産業フェア&やまとたかだ元気ウイーク」は地域の活性化につながるものであり、定着・継続することが必要であると考えられる。
③ 効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	B	事務の改善・効率化、コスト削減に努めており、その成果が表れてきている。今後も更なるコスト削減に努める。

#### 6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input checked="" type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他
	現在、市が補助金を出し、実行員絵画運営するという実行委員会形式をとっているが、今後は、市民団体やNPO、ボランティア等が主体となり、運営できるように実施主体の育成や人材の発掘を行う。

#### 7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）